キャラクター名
ロクテン・オウマ

プレイヤー名

ベースシークエンス	サジタリア	**レベル**	8
アザーシークエンス	クロスバイツ	**性別**	男
出生タイプ		**年齢**	不詳

出自	貴族	**運命**	直感	**瑕疵**	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	5	0	0	5	35 %
知	5	0	0	5	35 %
敏	16	13	2	31	61 %
運	7	1	2	10	40 %

HP	81
MP	68
移動時ウィル	13
戦闘時ウィル	36

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器１	イジェクター				1	7			
武器２									
防具	ディスティニー								7
インナー	ショートパンツ					2			
アクセサリ	ストームブリンガー								
アクセサリ	デコレーション							4	
能力値＋ボーナス		22	0	8	47	0	8	31	0
アーツ	ショットエンハンス、カスタムショット・ライフル、バレッドチェイス				12	24			
その他	スナイプ				10	18			
総計(１)		22 %	0	8 %	70 %	51	8 %	35	7
総計(２)		22 %	0	8 %	69 %	44	8 %	35	7
総計(両)		22 %	0	8 %	70 %	51	8 %	35	7

所持品			
活動基本装備			
ハリー			
ヴァイタルドリンク			

所持金： 6550	預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
レイテント・パワー	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果： 1シナリオ1回使用可能　ウィル5点を得る。ハイランダーのみ取得可能。アーツ枠を消費しない							
ダークエッジ	2/5	2	インスタント	自身	自身	0	
効果： 戦闘終了まで、あなたの攻撃は闇属性になる。さらにダメージを与えた場合、対象は鈍重状態になる							
アトリビューション	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： ライトエッジとダークエッジを、あなた以外の任意の味方キャラクターにも使用できるようになる							
ブラックアウト	1/1	2	アクション	自身	自身	0	
効果： 半径20m内の、アルファコードやベータコードを持たないキャラクターを昏倒させる　シナリオ中[AL]回使用可能							
ショット・エンハンス	4/5	0	パーマネント	自身	自身	2	
効果： ショットの射撃攻撃命中に+[2xAL]%							
カスタムショット・ライフル	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：分類:その他　対象：自身　射程：その他　コスト：0　種別：ＰＥ　最大レベル：１《トゥーハンド》と重複して取得できないあなたの装備しているショットのデータを、装備している間、命中修正に+4%する							
パーセプション	2/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： とっさの知覚(～感知)に関する【速】判定に+[10xAL]%							
プロスペクト	2/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： 探索や落し物に関する【速】判定に+[10xAL]%							
スナイプ	5/5	5	インスタント	遠距離	敵単体	2	
効果：ラウンド開始時、使用できるあなたの行動値を、このラウンド中ー[(3xアーツLv)までの任意の値]するこれにより減少させる事ができた行動値3につき、攻撃ダメージに+3、ショットの射撃命中に+2%する他の効果によりあなたの行動順が変更された場合、この効果は適用されないハ/じっくりと狙いを定めることで相手の急所を的確に撃ち抜く							
ヴァルナブル・ファイアー	1/1	0	パーマネント	自身	自身	2	
効果： あなたの行う全ての射撃攻撃が与えるダメージに+[CL]							
バレット・チェイス	4/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： バッドステータス中のキャラクターに与えるダメージに+[4xAL]							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							

貴族の家に生まれる。にもかかわらず、昔から奇行が多く服のセンスも可笑しい。
頭がおかしいのか、幼少期見た夢の影響からかなのかは分からないが、将来は国を統べたいと漠然と考えている。
勝手気ままだが、差別はしない、合理的ではある。仲間には甘い。敵は倒せる相手なら即決即断倒す。直感を信じ、人の気配に過敏。力が弱い者でも大きな力を行使できる銃を気に入っている。
ハイランダーとして、AEに所属しているのは世界を見たいから。

第六天魔王　三段戦法
貴族、統治、直感、奇抜なセンス

「ロクテン・オウマだ。オウマって呼びな！！」
「親は貴族だが、俺は貴族だ平民だ、そんな小せぇことは気にしねぇ。」
「将来は、この国で天下を取るつもりだ！名前・・・覚えておいて損はさせないぜ？」